

## 『そろそろいるかな？チョウトンボ。』

令和8年6月7日（日）

さいたま支部ペガサス分団

さいたま市西区にある三橋総合公園は1991年平成3年に開園しました。

公園は南北に細長く、約700m続いています。公園の東を並行して流れる鴨川との間には、鴨川の洪水対策として造られた調節池があります。ここには水辺を巡る木道が設置され、水辺の生き物を観察することができ、ウエットランドと名づけられています。

このウエットランドには6月ごろからチョウトンボが舞う姿が見られます。チョウトンボは羽が青紫色をしていて、金属的な光沢を放っています。大きさは3～4cmくらいで、トンボの仲間であるにも関わらずチョウのようにヒラヒラと飛びます。活動日が6月上旬なので見られるとよいなと思っています。去年は6月10日に見ることができました。

三橋総合公園は水田や湿地を埋め立てて造られました。西側の台地には与野道が通り下内野村（三橋6丁目）には古くから人々が住んでいます。三橋総合公園周辺は新大宮バイパスや多くの店舗や会社、工場が低地を埋め立てて造られました。大規模な埋め立てによって、今では下内野村の台地と鴨川沿いの低地がほぼ同じ高さになっています。しかし低地は何千年も前は海だったので、台地の縁だった所からは、今でも貝殻や当時の人々が使った土器の破片が見つかることがあります。そんな地形の名残りも見てみようと思います。

下内野村には古い時代の氷川神社としてスタートした大倭神社があります。現在の社殿は、江戸時代中頃に、地頭の安藤治右衛門や代官の中村左衛門らによって建てられたものです。大倭神社には、さいたま市指定民俗有形文化財で、市内三大庚申塔の一つの大倭神社の庚申塔があります。1721年享保6年創建で、高さが256cmもあります。下内野村を通る与野道は村の北で加村（日進）を通過して原市に向かう原市道と清河寺村を通過して上尾に向かう上尾道に分かれます。下内野は交通の要衝であり、今でも宿場町のような街割りの名残りがあります。

1 期日 令和8年6月7日（日）

☂ 雨天、交通事情の混乱があった場合等は中止します。

2 集合 三橋総合公園体育館前 午前 9時30分

3 解散 三橋総合公園駐車場前 午前12時00分頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約2.2km

三橋総合公園→体育館前→ウエットランド→日枝神社→大倭神社→三橋総合公園駐車場

※ 天候等により、当日になって行程を変更することもあります。

5 持ち物

クリップボードまたは探検バック、セロハンテープ、帽子、水分補給用の飲料、雨具、  
持っていれば双眼鏡

6 その他

- ペガサス分団活動では資料を用意する関係上、参加人数を把握するために事前の申し込みをお願いしています。
- 小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- 団体行動です。1人で行動してはいけません。用事がある時はリーダーと一緒に行ってまいりましょう。
- 危険な物（刃物・ライター・モデルガン・薬品類など）、周囲に迷惑をかけやすいもの（大きな音のするものなど）、ペット等は持ってきたり連れてきたりしないでください。
- 天候、交通事情、参加者の健康状態等で行程を変更することもあります。